

# 足立新田高等学校 令和4年度 公民科 倫理 年間授業計画

教 科：公民 科 目：倫理 単位数：2単位

対象学年組：第2学年1組～6組

使用教科書：『高校倫理』実教出版

使用教材：自作プリントなど

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
4月	青年期の意義	青年期の特性や意義について理解させ、併せて自己の今日的な課題について思索させる。		2	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	青年期の課題	「アイデンティティの確立」を中心に生徒の理解、思索を促すとともに、フリーターやニートといった現代的な心理的モラトリアムの特性について理解させ、生徒の心理的自立を促す。		2	
	人間としての自覚	神話の時代から、自然哲学（タレス、ピタゴラス、デモクリトス等）が生まれた科学的意義を理解させる。		1	
5月	ポリスの哲学	人間のロゴスの探求の関心がポリスの発達に伴い、ノモス（人為）に移った経緯を理解させる。		1	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	ソクラテス・プラトン	ソフィストの哲学とソクラテスの違いを理解するとともに、二元的世界観であるプラトンの哲学を理解させる。		2	
	アリストテレス	いわゆるプラトンの理想主義と、アリストテレスの現実主義の違いを理解させる。		1	
	ヘレニズムの思想	ポリスの崩壊に伴って、禁欲主義や快楽主義等の思想が生まれたことを理解させ、ヘレニズム思想が後に与えた影響を理解させる。		1	
6月	キリスト教	キリスト教の源流であるユダヤ教とキリスト教について理解させるとともにそれらのちがいについて理解させる。		3	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	イスラーム	イスラームの基本的な考え方を理解させるとともに、クルアーンの教えがムスリムの生活に大きく関係していることを理解させる。		2	
	仏教	仏教の源流であるインド思想を理解させるとともに、仏教の特色について理解させる。		2	
	中国思想	古代中国の儒家や老荘の思想を理解させる。儒家の思想については、それが生まれた時代的背景についても理解させる。		2	
7月	芸術と人生	芸術の持つ意義を理解させるとともに、「美」に対する生徒の理解や思索を深めさせる。		1	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	1学期まとめ	1学期に学んだ内容を踏まえ、生徒が自己の生き方・考え方にどのように関係するか、思索を深めさせる。		1	

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
9月	日本の風土と人々の生活	日本の気候風土を再度確認しつつ、世界との比較をさせる。和辻哲郎の風土論について学習させる。		1	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	神との関わりと道徳観	日本人の古来よりの神に対する考え方を理解させ、日本人としての理解を深めさせる。		2	
	日本の仏教思想	仏教の受容から、仏教の日本的展開の歴史を理解させ、仏教と日本文化の関係について思索を深めさせる。		2	
	近世日本の思想	儒教の受容から幕末の思想までの歴史を理解させる。		3	
10月	啓蒙思想と自由民権運動	明治期の啓蒙思想のや自由民権運動の性質を理解させるとともに、これらの思想が、現代日本に与えた影響について思索を深めさせる。		2	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	国家主義の台頭と社会主義思想	国家主義思想や社会主義思想の概要について理解を深めさせる。併せて、これらの沿革について理解を深めさせる。		2	
	近代的自我の確立	明治以降の日本において、西洋思想の輸入とともに盛んになった近代的自我の概念を、夏目漱石等を踏まえながら、理解を深めさせる。		2	
	ルネサンスと宗教改革	中世の神中心の考え方から、人間尊重主義への変化を理解させるとともに、この動きが現代に与えた影響について、理解させる。		2	
11月	新しい自然観	ルネサンスを土台として育まれた、理性に基づく科学的精神によって、近代科学の礎が築かれた沿革について理解させる。		1	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	経験論と合理論	イギリス経験論と大陸合理論の基本的な考え方を理解させると同時に、帰納法、演繹法について理解させる。		3	
	功利主義とプラグマティズム	イギリス経験論をルーツとする功利主義やプラグマティズムの性質について理解させ、それが現代社会とどう繋がっているかを理解させる。		2	
12月	社会契約説	ホブズ、ロック、ルソーの社会契約説の概要を理解させ、社会契約説が後に与えた影響について理解させる。		2	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	カントの思想	カントの認識論について理解させるとともに、カントの道徳論、平和論についての理解を深めさせる。		2	
	ヘーゲルの思想	ヘーゲルの弁証法について理解を深めさせるとともに、人倫の思想の意義について、思索を深めさせる。		2	
	2学期のまとめ	2学期に学んだ内容を踏まえ、生徒が自己の生き方・考え方にどのように関係するか、思索を深めさせる。		1	

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
1月	社会主義の思想	社会主義の思想が生まれた社会的背景を、マルクス等を踏まえて理解させる。		2	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	実存主義の思想	キルケゴールからハイデガー等に至る実存主義の概要について理解させると同時に、実存思想が生まれた現代社会の特質について理解させる。		2	
	理性への反省	フランクフルト学派等を取り扱い、古来の理性中心主義が齎した光と影の部分を理解させる。		2	
2月	異質なもののまなざし	フーコーやレヴィナスの思想の概要を理解させ、多様な価値観を認める開かれた考え方の陶冶を図る。		2	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	生命への畏敬	シュヴァイツァーやガンディーの思想、生き方を理解させ、生命を尊重する心情の陶冶を図る。		2	
	他者に赴く心	マザーテレサ等を取り扱い、彼女の生き方、考え方を理解させるとともに、人類奉仕の心情の陶冶を図る。		2	
	生命の倫理	現代の生命科学の諸相について理解を深めさせるとともにその光と影について考えさせる。		2	
3月	環境の倫理	現代の環境問題の諸相について理解させるとともに、より良い文明のあり方について考えさせる。		3	『高校倫理』実教出版 ノート プリント
	高度情報化社会の課題	情報化社会の諸相について理解を深めさせると同時に、生徒のメディアリテラシーの陶冶を図る。		1	
	国際平和と人類の福祉	国際平和をめぐる諸相を理解させると同時に、人類全体の福祉について思索を深めさせる。		1	
	1年間のまとめ	1年間に学んだ内容を踏まえ、生徒が自己の生き方・考え方にどのように関係するか、思索を深めさせる。		1	